

# RENMEIみやぎ



## 目次

会長あいさつ・ごあいさつ	2～3P
2021年度日本看護連盟通常総会	4P
夏の参議院選挙比例候補予定者に「ともものうりお」決定!!	5P
特集 vol.1 COVID-19 感染症 私たちの行動、私たちの想い	6～10P
今年度研修会	11P
今後の予定	12P
会員募集	12P



## ～ごあいさつ～



## 宮城県看護連盟会長 中村 恵美子



会員の皆様には、日頃より看護連盟活動にご理解とご支援を頂きお礼を申し上げます。  
この度の新型コロナウイルス（オミクロン株感染）の猛威に、緊迫した状況の中で懸命に頑張っておられる皆様に心より感謝と敬意を表します。

宮城県看護連盟も昨年に続き研修会等も回数や規模を抑え、総会も少数・短時間に抑え来賓も招かず講演もお呼びませんでした。2年続きのコロナ禍の辛抱が一日も早く収束するよう願うとともに、日々の看護に喜びが得られ未来に希望が持てるよう精一杯連盟活動を頑張っていきます。

昨年10月の衆議院議員選挙で高階恵美子候補が中国ブロックで当選されました。今年は7月に参議院議員選挙があり、友納理緒さんが自民党公認を受け組織内代表に内定しております。看護連盟は団結して活動をし、看護職の代表を国会へ送ります。会員の皆様の強力な支援をよろしくお祈りいたします。



## 公益社団法人 宮城県看護協会 石井 幹子

水仙にそっと心を寄せたくなる季節となりました。

さて、皆様はコロナ禍において宮城県の医療体制が優れていることを認識していらっしゃいますか。東日本大震災の経験を踏まえて“オール宮城”で対応しているから、と聞いております。“オール宮城”で対応できるのは看護職の尽力があるからこそと、とても誇らしく、あらためて看護職に感服しております。

日本の人口が減少し続ける中、高齢化はこの先数十年以上も続くようです。人々のニーズに応えられる看護師の育成や、働き甲斐をもち働き続けられる制度や政策など、喫緊の課題がたくさんあります。

今後一層、看護連盟と看護政策を共有し、連携して、看護職が笑顔で活動できるように力を合わせて取り組みますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 日本看護連盟 会長 大島 敏子

宮城県看護連盟の皆様、COVID-19の感染対応に最前線で働く皆様の看護実践に、心からの感謝と敬意を表します。

また、49回衆議院選挙では、自民党が単独過半数を獲得し、日本看護連盟においても、2人の議員を国会に送り出すことができました。皆様のお力添え、ありがとうございました。

看護職給与の引き上げについては、当初の対象20万人を57万人に大幅に増員し、2～9月に国の補助金で3%程度の引き上げ、10月以降は診療報酬に賃上げ分を上乗せすることになりました。この基本給アップを、各職場で見届けて下さい。

7月に予定されている第26回参議院選挙は、すべての看護職の賃金アップを実現させる選挙です。看護協会と連携し、看護職の力を社会に示しましょう！



## ～ コロナ禍にあっても、新たな一歩を～



衆議院議員 あべ 俊子

いつもご指導いただきありがとうございます。

昨年末、岸田政権下において看護師賃金の段階的な引き上げが決定いたしました。看護職こそ医療のフロントラインに立ち、エッセンシャルワーカーとして社会を支えてきたという役割が認められたところです。看護職の勤務状況は厳しいものです。体力勝負であり、夜勤もあります。お金のためだけに働いているわけではありませんが、賃金には、厳しい仕事に従事していること、高い専門性を必要とすることへの評価が反映されるべきです。今回の処遇改善は対象者、期間を限定した形となりましたが、今後は対象者を絞ることなく、全ての看護職への恒久的な賃金引き上げを求め、努力して参ります。

今年には診療報酬改定が実施されます。新興感染症対応の他、医療従事者の負担軽減、タスクシフティングも重視されます。看護職の高度な技術・知識に対する適切な評価も望まれています。

いつの時も、政策立案の基本となるのは、現場の声です。誇りをもって看護職を続けられる職場環境の整備に貴連盟の皆さまと一緒に取り組んで参りたいと存じます。



自民党人生100年戦略本部・女性の生涯の健康に関する小委員会 委員長  
自民党政務調査会・性的マイノリティに関する特命委員会 委員長  
衆議院厚生労働委員会 理事

衆議院議員 たかがい 恵美子

コロナ感染症の流行開始から三度目の春となります。宮城県看護連盟の皆様におかれましては緊張感の続く中、いのちの現場で思いやり看護の尊い使命を尽くしていただいております皆様とご家族の皆様にご心から感謝を申し上げます。

私は皆さまのご努力に少しでも報いるべく平常心を忘れず、これからも現場第一の姿勢を貫いて地道に努力を積み重ね、さらなる成果をお見せできるよう精進する所存です。2月7日、衆議院議員として初めて予算委員会で質疑をいたしました。テレビ中継入りの審議で、自民党代表として質問させていただき栄誉にあずかり生涯忘れ得ぬ貴重な機会となりました。岸田政権が掲げる看護職の給与引き上げは、私たちの悲願でもあります。その完全実施に向け、性根を据えた取り組みが大切な時代を迎えています。これからも知恵を出し合い、力を合わせてまいりましょう。



参議院議員 石田 昌宏

宮城県看護連盟の皆様、コロナ禍にあっても日々多くの試練の直面しながらも、県民の命と健康を守ってくださり心より感謝申し上げます。皆様の努力は看護の歴史に刻まれることでしょう。振り返れば、看護は過去何度も大きな困難に直面してきました。戦後の圧倒的医療逼迫、高度成長期の急速な病床数増加と看護師不足、疾病構造の変化、病床転換の波など。先輩方はその都度知恵と力を結集し乗り切ってこられました。貴連盟の長きにわたるご貢献を、看護職の一員として誇りに思うとともに敬意を表します。

その先輩方の志を引き継いだ皆様から、私は国政に送り出されました。看護職の待遇改善と社会的地位の向上は私の使命です。近年は、診療報酬上の条件緩和、慰労金の確保、ワクチン接種の迅速化、経口治療薬の推進などに全力で取り組んで参りました。現在は、参議院厚生労働委員会筆頭理事として、政権の推進する公的価格増額の流れが皆様に行き渡るよう身命を賭して尽力しているところです。これからも皆様と力を合わせて頑張ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



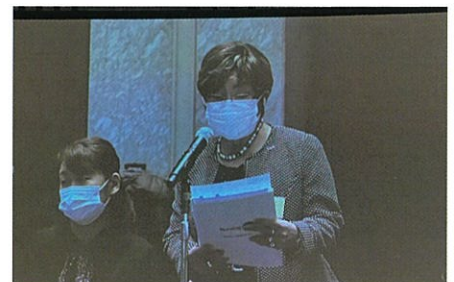
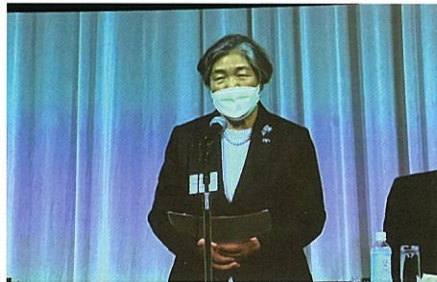
# 2021年度日本看護連盟通常総会

日時:令和4年2月25日(金) 場所:ザ・プリンスタワー東京

澄み渡る青空のもと前日の47都道府県会長会の後、通常総会が行われました。  
出席者は代議員集合72名委任状501名・議長2名・都道府県会長2名・中央役員12名日本看護連盟顧問3名の評議により報告事項及び審議事項は承認されました。  
総会終了後に「友納理緒氏」が組織内参議院比例候補者として紹介されました。



(古内)



## 自民党議員からご挨拶がありました





夏の参議院選挙比例候補予定者に

# 「ともものうりお」決定!!

公益社団法人 日本看護協会 参与  
看護師 / 保健師 / 弁護士



室内用  
打掃資料

看護師・弁護士

# ともものうりお

看護職をまもるため  
新たなステージへ。

自民党公認 参議院〈比例代表〉

<https://tomono.jp/>



看護師・保健師・弁護士

## ともものうりおを応援しよう!

「ともものうりお」を応援して、ともに看護の明日をつくろう!  
ご賛同いただける方は、右のQRコードから登録をお願いします!





## 特集

vol.1

## COVID-19感染症



東北医科薬科大学病院 瀬戸 初江

新型コロナウイルス感染症が2019年から世界的に流行し今なお人々の暮らしを脅かし命までも奪おうとしています。この戦いはいつ終わるのだろうかという誰もが危機感を抱き生活しています。当院も流行当初から今日まで様々なコロナへの対策を講じ、専用病棟を開設し、入院患者を受け入れてきました。また、保健所からのメディカルチェック対応、地域の施設へのコロナ対策の支援などあらゆる活動を行ってきました。コロナ専用の病棟の勤務者は各病棟よりローテーションで1名ずつ配置し勤務を組みました。このような体制にした理由は、コロナ患者に対応した看護師の偏見や差別をなくし、看護部全体で感染対策に対する意識を高め公平感を保つことができました。何よりもコロナの患者や家族のケアに携わり改めて看護の役割の大切さを認識しているところです。さらに、看護師だけではなくあらゆる職種が自分の事として考え、病院全体で対策を立てていくまさにチーム医療の本質を迫られています。週1回の管理者によるコロナ会議、各チーム毎に会議さらには職員共有の場として本部会議を開き全職員で関わっているという認識を持つことができました。まだまだコロナ禍は収束が見えない状況ではありますが、いつか終わることを信じてやるべきことをやるしかない今は心に言い聞かせて毎日を送っております。

仙台赤十字病院 佐藤 郁子

外来では、救急患者の受け入れ、発熱者の対応、通常診療の介助など、さまざまな状況で患者さんと接する場面があります。そのため、院内で二次感染を起ささないためには、一人一人が感染対策を正しく理解し実践することが求められます。流行当初は、防護具の着脱・PCR検査の手順・コロナ感染症患者の入院対応など慣れない対応に戸惑うスタッフも多く見受けられました。そこで、正しい感染対策を習得できるように、外来マニュアルを作成し動画視聴で周知を行い、実践でのサポートを継続して行ってきました。現在までに、院内感染を発生することなく、看護師一人一人が自信をもって患者対応を行うようになりました。今後も、地域の患者さんへ安全な療養環境を提供するために感染対策の徹底に努めていきたいです。

仙台厚生病院 加島 典子

新型コロナウイルス感染症が流行し3年目を迎えました。現在第6波の真っ只中ですが、感染防止対策を徹底しながら、地域に貢献すべく奮闘しています。これまでの取り組みの一部をご紹介します。

まず、ワクチン接種ですが、10月までに約5,000人の初回接種を終えました。現在追加接種を行っています。アレルギー外来にご紹介いただいた方にも安心してワクチンを接種していただけるようマニュアルを整備し、万が一の急変に備えており、これまで安全に実施することができました。

また、感染症対応のためのアイソレート室2を新しく設置し、流行当初から発熱外来を開設しました。地域のクリニック等で対応困難な疑いのある方をご紹介いただき、検査・診察を行っています。

新型コロナウイルス感染症の早期終息を願っていましたが、まだまだその兆しは見えません。しかし、この2年間で一人一人の看護師がこれまで以上の感染防止対策を身につけることができました。陰性なのか陽性なのかに関わらず安全に看護を提供できるよう、引き続き対策を徹底していききたいと思います。

仙台整形外科病院 穴井 邦子

仙台整形外科病院は整形外科単科で新型コロナウイルス感染症の診療を行うことはできません。感染拡大時にはコロナ病床確保のため一般急性期の患者さんを受入れることが私たちの役割だと考えています。

冬は転倒し骨折した患者さんの入院が増える時期です。この冬は積雪や凍結による転倒で受傷した患者さんがことのほか多く、ベッドが空かずに転院受け入れが進まない日々が続いています。

高齢の患者さんが多く入院していますので、感染予防にも力を入れています。

コロナ患者さんを受け入れている病院の方々には頭が下がる思いです。後方支援にはなりますが、私たちにできることを行っています。



# 私たちの行動、私たちの思い



## 河原町病院 品川 陽子

当院は一般病棟23床・医療療養病棟29床を有する地域に密着した二次救急指定病院で年間1,300台ほど救急車を受け入れています。

新型コロナウイルスが発生してからはいち早く発熱外来を立ち上げ地下駐車場に検査ブースを設置し、PCR・抗原検査を実施してコロナウイルスを院内に入れない対策を取っています。オミクロン株が猛威を振るっている現在は、PCR検査機 3台、遺伝子検査機 2台をフル回転させていますが陽性率はかなり高くなっています。

院長は「機器をそろえるのは、職員とその家族のためと対策を早く取るため」と話し、職員を守ると同時に患者さんを守ることに繋げています。

ワクチン接種に関しては当院の強みである職種を超えたチームワークの良さで予約の段階から職員総出で対応をしています。



## 河原町病院 櫛引 明美

外来では新型コロナウイルスに関して全てが初めてのことばかりでした。様々なマニュアル作成・院内の周知から始まりましたが日々変わる情報に振り回された感もありました。その反面スタッフ全員の感染対策への意識が高まったと感じているところです。

近隣の医療機関は発熱外来がないところもあり、「河原町病院に行けば診てもらえると言われた」と昼夜問わず来院するケースが多々あります。地域密着を掲げているものの救急を優先しなければならず有熟者の検査が後回しになり申し訳なく感じることもあります。タイミングよく検査ができ「本当に良かった。ありがとうございました。」と感謝の言葉を頂いた時はホッとする瞬間でもあります。



## 公立黒川病院 佐藤 亜紀子

公立黒川病院では、昨年4月から黒川地域1市2町1村と連携しワクチン接種業務を行っています。看護部のワクチンチームは、看護部長・看護師長5名で、薬品準備、問診補助、接種補助、接種、接種後観察をしています。年齢の異なる接種者の不安に寄り添いながら、安心して接種を受けられるようチームで工夫しながら実施しています。3回目のワクチン接種が始まり、今は週2回1日約100名の方に行っています。現在まで延べ8,000名に達しました。

未だにコロナ感染者が多く不安な日々が続いていますが、接種後アンケートで、「とてもスムーズで、スタッフの対応が良かった」と言われると、我々も大変嬉しく笑顔で頑張れます。

自分たちの経験とスキルを活かして、今後もチーム力で遂行していきたいと思えます。



## くろかわ訪問看護ステーション 鈴木 文枝

コロナ感染症が流行してから2年が過ぎ、訪問看護の現場もコロナによる影響を大きく受けています。訪問看護師は利用者や家族がいつの間にかコロナに感染していたり、濃厚接触者になっていたらという恐怖を感じながら訪問しています。入院中、家族と面会ができず、早期に退院する利用者も多く、速やかに訪問看護に繋がられるよう主治医やケアマネジャー等との連携が重要になっています。感染対策の為にマスクやフェイスシールド、時にはフルPPE着用して訪問することがあり、会話が聞き取りに

く、表情も分かりにくい、ケアしにくいなど困難をきたすこともあります。

このような状況の中、職員も外出や外食を自主的に控え、ストレスも溜まっていますが、自分が感染源にならないように気を付けながら働いています。利用者から「看護師が来るのを楽しみ待っていた」「ありがとう」との言葉を励みに今後も頑張っていきたいと思えます。



## 特集

vol.2

## COVID-19感染症

医療法人社団仙石病院 高橋 永子

当院は令和2年5月より感染症外来協力医療機関として登録し、発熱患者のスクリーニング及び検体検査を外来看護師が中心となって行ってきた。

しかし、看護師は一般外来と救急対応及び発熱外来を兼ねている為、その業務は煩雑であり、毎日が逼迫している状況である。検体検査は感染の急激な拡大に伴い、多い時では月に770件、今年1月も700件に近い検査を遂行している。

業務を遂行する中で、日々思う事は、感染防御に努めながら現場での看護を展開していく事である。特に、夜間・休日に対応する看護師も少ない中で、感染対策を行いながら救急対応する場面が頻回にみられ、看護師の疲弊度はMaxに至る事が多い。

自分自身が感染源にならないよう、又、元気に働くために、個々が日頃から体調管理に努め、出勤前の体温測定は勿論の事、症状がほんの少しでもあれば、積極的に検査を行い、不必要な外出は避け、車内での一人昼食など、感染対策の徹底化を病院全体として取り組んだことにより、院内感染を発症する事無く、経過出来ているものと感じる。

まだまだ感染の終息は見えないが、気持ちを緩めず、職員全員でこのコロナに立ち向って行きたい。

仙台医師会看護専門学校副校長 峯 明美

令和2年1月感染拡大が徐々に進行し、教育運営のかじ取りに大きな変化を及ぼしてきた。その渦中において、学校が対応してきたことは、貴重な体験として残っている。

授業はオンラインと対面のハイブリット方式に転換。臨地実習は施設の方針により中止となり、全体の3分の2を学内演習に切り替え。学校行事は中止または縮小開催に変更。さらに感染対策方針を決定し、校内の感染防止に努めた。ワクチン接種を推進し2回目の接種を6月までに完了、現在3回目の接種を実施している。結果クラスターの発生はない。このような対応から、教員のスキルアップや臨地実習の重要性の再確認につながった。

さらに、本校は仙台市医師会立であることから、市民のために集団接種会場として6～11月の6か月間学校を開放した。

いずれも、教職員・学生生徒の理解と協力の成果であると感謝している。

宮城大学看護学群 基礎看護学 大橋 幸恵



新型コロナウイルス感染症は、変異株の出現があり今も世界中で感染拡大が続いています。医療現場が、病床のひっ迫や医療者の疲弊など多くの問題を抱えながら、目の前の患者さんに日々対応されていることに心より敬意を表したいと思います。

大学では、コロナ感染症発生以降、感染の動向を見ながら行なってきた臨地実習が中止となる状況があります。しかし、このような時だからこそ未来の医療を担う看護職を養成し続けることは、重要な責務と考え教育活動を行ってきました。ご存じの通り、看護基礎教育において看護学実習での学びは特別なものであり、そこでの学習環境を完全に再現することはできません。感染予防に留意しながら、少しでも実習目標に到達できること、臨地での看護をイメージできるように、学内での技術演習やonlineを取り入れるなど教育方法を工夫しています。制限のある中での教育とはなりますが、いい意味でこれまでの教育を見直す機会にもなっていると感ずることがあります。

基礎看護学では、感染予防についての学習があります。コロナ感染症の流行により学生は、日頃から自身の健康管理の重要性や手指衛生のタイミング、マスクの正しい装着方法を常に学ぶ機会となっています。このような状況だからこそ、特に意識することができ、習慣として身につけることにつながると感じています。経験から学ぶこと、それを看護師になった時にプラスの経験にしてもらえたらと感じています。

最後に、学生や患者さんの安全を守りながら、教育活動を行なっている看護教員の皆様にも敬意を表し、ピンチをチャンスと捉え、これまでにない看護教育の創造に貢献していきたいと思っています。



# 私たちの行動、私たちの思い

## 医療法人社団仙石病院 高橋 恵美

2021年6月より当院でも一般対象のワクチン接種が始まった。1回目は予約センターを介しての予約。2回目は当院で予約を組み接種計画を立てていったが、65歳以上の接種対象者では接種券の紛失や、接種券を持たずに来院する事が多々あり、市のワクチン推進室へ連絡を取って、再発行後の接種というケースが毎日のようにあった。一方、年齢層が若くなると、接種券を忘れたり、予約日を忘れて連絡がつかない状況があったりと、突然のキャンセルに振り回される状況が毎日のようにあった。

しかし、このような状況下でも、看護業務を行いながら、ワクチンを1本も無駄にすることなくやりくり出来た事は、スタッフの協体制度は勿論のこと、仕事に対する責任という点では誇りであると自負する。

## 介護老人保健施設なとり 鈴木 郁子

令和2年4月、コロナ感染が広がりつつある中で介護の現場に就職しました。すぐに感染対策に取り組み、約2年間、感染対策の水準を上げることに力を注いでいます。

この間、当施設でもコロナ感染者が発生し、そのたびに多くの時間が裂かれ、3週間連続勤務で対応することもありました。徹底した感染対策、利用者の健康管理、職員の勤務調整などたくさんやるべきことがあります。みんな疲労困憊しながらでも、看護・介護職員が同じ方向に向かって協力する事で乗り越えてきています。

この間で得られた教訓は、「職員への細かな情報提供し感染対策の方向を一致させる。相談機能を充実させてスタッフを支援する。慎重に慎重を期した対応をする。」ということ、そして日々の感染対策がしっかり行われているか管理することです。

介護施設で、感染対策のイニシアティブをとるのは看護師だと実感しています。

制約のない介護サービスや利用者や家族との時間確保ができるように、コロナ感染が早く終息するように願い、コロナから解放されたいという心からの叫びです。

## 国家公務員共済組合連合会東北公済病院 加藤 裕子

当院はCOVID-19第一波襲来時、病院長の「コロナの患者は院内に入れない」という方針の下、すぐさま町内会からお借りしたテントを病院玄関前に設置し、テント診療が開始しました。入り口ではトリアージに注力し、多職種が協力し合い対応しました。初めて案内係りとして患者対応した職種も多かったと思います。夏が来てテントの中は蒸し風呂のように暑くても、台風が来てテントが飛びそうになっても、冬が来て凍える寒さでもテント診療は続いています。

また、COVID-19陽性患者の入院は無理だが、それ以外は何でも協力するという方針の下、帰国者接触者外来が開始しました。開始当初は、国分町で何件かクラスターが発生していた時期でした。このため病院の玄関前には連日綺麗な顔立のお兄さんたちが集合していました。その後も職域接種、一般ワクチン接種、アセスメント外来と手を広げていきました。いずれの場合も看護部だけではなく他職種、特に事務部門は大変頑張ってくれました。

現在は重点医療機関として、COVID-19患者を受け入れています。いずれの外来も手を引くことなく続いています。

## 国家公務員共済組合連合会東北公済病院 佐々木 加奈

コロナ感染症に伴い、看護職の勤務体制などが大幅に変化している。外来診療の発熱患者はテントでの診療を行っている。テント診療は外気温に左右されるため、夏は暑く、冬は寒い状況で診療を実施している。暖冷房器具などの設置により、多少改善された部分はあるが、患者の待機場所がテント外になることもあり十分な環境ではないと感じた。当院だけではなく、報道番組などでも待機場所が外部のため、患者が外で並び待機している様子があるため、快適な環境が提供できると良いと感じた。

また、コロナ禍において医師や看護師など医療職のみが陽性者に関わるということではないため、事務、清掃、コメディカル部門にもCOVID19に対する講義と正しいPPE装着・脱衣方法、手指消毒について演習を行った。実際に脱衣の順番を問うと「エプロンから脱ぐ」という返答が多かった。これまで汚染された手袋から外すことが基本と思っていたが、今回の演習を通して、認識に違いがあるということを学んだ。今回のような演習内容に関わらず、院内の感染対策を行っていくうえで他職種と認識のズレをなくしていくことは重要な事であると感じた。



## 特集

vol.3

COVID-19感染症  
私たちの行動、私たちの想い

## 介護老人保健施設 春風のころ 澤田 裕輔

皆さん、初めまして。私は昨年に宮城県看護連盟の仲間に加えていただきました、澤田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスが日本国内で発生してから、すでに2年が経過しました。当初はこんなにまで影響が長引くとは、誰も想像できなかったと思います。現在は第6波に突入していると言われており、宮城県内の感染者数も急増している状況を考えると、まだまだ断することはできません。私は看護職に身を投じて15年になりますが、今ほど看護師として危機を感じたことはありません。

私の勤務先は仙台市若林区に所在する、定員100名の介護老人保健施設です。医療依存度の高い利用者様が多く、ターミナルケアを受けられている方も入所されていることから、早い段階から感染対策マニュアルを法人本部で作成し、それに則って業務に当たっています。それが功を奏しており、当施設では現在までに利用者様・職員ともに感染者は発生していません。今後も気を引き締めて、全職員が感染予防のために一層努力していかなければならないと考えています。

現在は利用者様の面会を制限させていただいており、大変ご不便をおかけしているところです。職員として、利用者様やご家族様に不便を強いてしまっている分、さらなる感染対策を講じて体調の管理を利用者様の安全を守っていかなければならないと考えています。そのためにも、作成されたマニュアルを順守することはもちろんのこと、職員自身が不要不急の外出を避ける、人が密集する場所へは立ち入らない、そして日頃の体調管理をしっかりと行うなどの努力は不可欠であると考えます。その分、ストレスの解消ができず、蓄積されてしまい心身に変調をきたす恐れもあります。それを予防するためにも、私自身は休日に最大限リフレッシュすることに努めています。

例えば自宅でできる運動やストレッチをする、趣味の一つである映画鑑賞をDVDでするなどです。いかに気分転換や健康管理をするかが自らの課題ですが、コロナ禍が終息し、また旅行や映画館へ行くことができることを楽しみにしつつ、今はひたすら我慢の時だと自分に言い聞かせています。

現在、全国の医療従事者は懸命に職務に当たっています。市民の方々からの期待の大きさや責任の重さも感じています。そのような状況にあっても、一人の医療従事者として、国民の生命を守る一員であるという誇りと自覚を持ち、今後も職務に当たりたいと考えています。



## 仙台オープン病院 和知 洋子

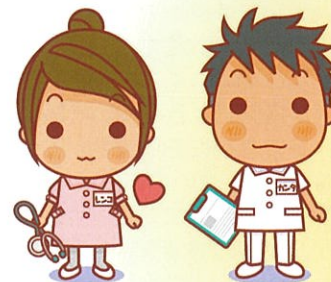
災禍はいつまで続くのだろう。

3年目を迎え、思う。立場上、「大変ですね、頑張っていますね。」と声をかけられるが、わたしの苦労など、現場のスタッフの苦労の比ではない。

彼らのコロナに立ち向かうその姿勢は、戦士たちそのものだ。またその機動力は使命感であり、常に感染対策チームと共に一丸となって対応してくれている。頭の下がる思いだ。

閑散期には他部署に「応援体制」をとった。しかし、応援先では、まるでコロナ禍が別世界で起きていることのような「温度差」を感じたという。その事実は、ほんの一部だが、彼らにとってストレスフルであった。

第6波が来てコロナ病棟が再結成された。彼らはまた立ち向かっている。それでも自分たちは看護師で、目の前にいる患者はコロナの有無は関係ない、とばかりに「その人らしく生きる」を支援したい、と看護を展開している。







# 今年度 研修会



## 会員研修会1

- 日時** 令和3年9月4日(土)
- 場所** 仙台ガーデンパレス
- 講師** POOマスター、東北公済病院看護部 次長 高橋 ひとみ 先生、EAファーマ(株)
- テーマ** 排泄ケアの基本



うんちを知って健康管理！ みんなで楽しくうんちしたいそう！



## 会員研修会2

- 日時** 令和4年1月22日(土)
- 場所** 仙台ガーデンパレス
- 講師** 宮城県医療政策課 課長 遠藤 圭 先生
- テーマ** 宮城県の医療の現状と課題



宮城県の4病院移転・統合問題について県議や賛助会員と共に講演をききました。



## 今後の予定

### ① 令和4年度 日本看護連盟 通常総会開催

日 時：令和4年5月25日（水）

会 場：東京プリンスホテル

### ② 令和4年度 宮城県看護連盟 通常総会開催

日 時：令和4年6月3日（金） 13時30分～15時30分

会 場：仙台ガーデンパレス2階 鳳凰

### ③ 北海道・東北ブロック決起大会

日 時：令和4年6月19日（日） 13時30分～15時30分

会 場：TKPガーデンシティ（アエル）



Standard Model

冠婚葬祭や公式行事に、女性を美しくコーディネートする  
クイーンパールのスタンダードモデルの本真珠セットです。

0120—004—083



クイーン・パール

仙台市太白区茂庭台4丁目3-11

Since 1994 23th Anniversary

[www.queen-pearl.com](http://www.queen-pearl.com)



## 令和4年度 会員募集！

あなたの力が連盟活動を支えます。  
職場の声を国政に反映させましょう！



正会員（年会費） 8,000円（本部会費5,000円 県会費3,000円）

特別会員（年会費） 8,000円（正会員の経験を有し、未就業で現在看護協会員に入会していない方）

賛助会員（年会費） 2,000円（看護連盟の趣旨に賛同していただける方であればなたでも入会できます）

学生会員（年会費） 無 料（看護学生で看護連盟の趣旨に賛同していただける方）

お問い合わせ（事務局）

TEL. 022-293-1720 FAX. 022-293-1727

E-mail: [renmei-miyagi@lily.ocn.ne.jp](mailto:renmei-miyagi@lily.ocn.ne.jp)